

平成22年度 日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立泉丘中学校 教諭 横山 智絵

- 1 派遣期日 平成22年11月16日(火)
- 2 研修先 学校名 桶川市立加納中学校
所在地 〒363-0001 埼玉県桶川市加納1279
<http://www.okegawakanou-jh.ed.jp>

3 研修内容

(1) 研究発表

研究主題：「豊かな心をもち、意欲的に学校生活を送ることができる生徒の育成」
～教育に関する3つの達成目標の取り組みを通して～

(2) 研究の概要

加納中学校では、「学力向上・体力向上・心の教育」といった教育に関する3つの達成目標を設定し、「確かな学力」と「豊かな心」を育む教育実践を継続してきている。昨年度は、「確かな学力」を中心とした研究を行い、生徒の学習意欲の向上や教師の意識の変化という一定の成果を挙げている。

今年度は「豊かな心」を中心とした研究を進め、ソーシャルスキルトレーニング(SST)の研修会の実施や、特別活動の相互的な関わりを一覧にした「加納中プラン」の作成に取り組んできた。

昨今は、少子化や核家族化が進むとともに、自然体験や社会体験などの体験活動が不足する中、人間関係の希薄化や規範意識の低下が指摘されている。この問題を解決していくため、加納中では学校生活のありとあらゆる場面で「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定」の場と機会を多く取り入れ、生徒の意欲を喚起するなどの心の変容が見られる授業づくりを目指し、「加納中プラン」を毎年修正しながら「学力向上」と「心の教育」の二本柱で効果的な指導が行えるよう全職員が協働で指導にあたっている。

※3つの達成目標

- ・規律ある態度(心の教育)達成目標・・・けじめある生活、礼儀正しい接し方、約束・きまりの遵守
85%以上の達成率
- ・体力(体力向上)達成目標・・・体力テスト(50m走、ハンドボール投げ)の県平均を上回る
早寝・早起き・朝ご飯運動
- ・学力(学力向上)達成目標・・・朝学習の実施、漢字・計算テストの実施、放課後の補充学習
95%以上の達成率

(3) 公開授業の様子

① 教科の授業公開

<学級活動> 単元「相手の気持ちを聞き取ろう」1年2組教室

この授業は「望ましい人間関係の確立」を目指し、ロールプレイングを用いた実践的な内容であった。特に「非言語的表現から相手の気持ちを読み取ろう」とすることに重点を置いて、相手の気持ちを考えなかったり、場の空気を読めなかったりするために起こる様々な生徒間のトラブルについても考えさせていた。前半は、生徒2人によるロールプレイングが行われた。Bくんの心ない言葉に対するAくんの反応を観察することにより、何が問題で、どんな解決策があるのかの意見交換が行われた。後半は、2人組によるSSTが行われた。一方の「20の質問」に対してもう一方の生徒が言葉以外の方法で答え、それが正しく伝わったかどうかをチェックし、非言語的表現を読み取る難しさを体感していた。

<学級活動> 単元「いいところ探しをしよう」3年3組教室

この授業は、「学級や学校における生活上の諸問題の解決」を図る内容となっていた。受験間近のこの時期、「自分の目標に向けて頑張る」気持ちが個人主義に陥ってしまいがちな3年生の問題に取り組んでいた。「トラストワーク」や「いいところ探し」などの構成的グループエンカウンターを用いて、楽しい雰囲気の中で授業が進んでいった。「トラストワーク」では、目隠しした友達を誘導しながら校舎内を歩くことで互いの信頼関係を確認していた。「いいところ探し」では、友達から認められる喜びを感じ、今まで気づかなかった自分について知ることによって、「未来の自分」に対しての希望をもった生徒の様子が伺えた。

(4) 研究内容と具体的な取り組み

①「学力向上」の取り組み

○加納中プランの策定→指導の工夫・改善

○単元全体の工夫改善

- ・学習のめあて、評価規準、手立ての明確化
- ・基礎、基本の確認と重要語句、指導計画の提示
- ・単元を単位としたレポートの作成

○一単元時間の工夫改善

- ・前時の学習内容と本時の課題の確認
- ・板書計画に基づいた板書の工夫改善
- ・小グループによる話し合い活動の積極的な導入
- ・学習カードによる授業の振り返り

○補充学習

- ・朝読書に加えて朝学習の実施
- ・放課後の補充授業の実施
- ・長期休業明けの漢字・計算テストの実施

○家庭との連携

- ・成績個票の見直し
- ・定期テスト後の振り返り方法の研究
- ・宿題を通した家庭学習の定着

②「心の教育」の取り組み

○「学習の約束」の徹底→授業規律の確立

○月別生活目標の見直しと生徒会活動を通した取り組み→委員会活動の活性化

○「豊かな心」の育成

- ・心の教育「加納中プラン」に基づいた着実な実践→教師・子どもたち同士の絆を深める取り組み
- ・ソーシャルスキルトレーニング研修会の実施→教員の技術力の向上
- ・生徒会活動の活性化→生徒会規約の改正を通した生活意欲の向上
- ・自らの生活改善を目指す「生活向上キャンペーン」→自尊心や向上心の育成

○家庭の連携

- ・夏期休業中の家庭訪問、三者面談の実施→家庭の絆を深める取り組み
- ・P T A 合同あいさつ運動、模擬店の実施→地域との絆を深める取り組み

③「体力向上」の取り組み

○体育科授業において

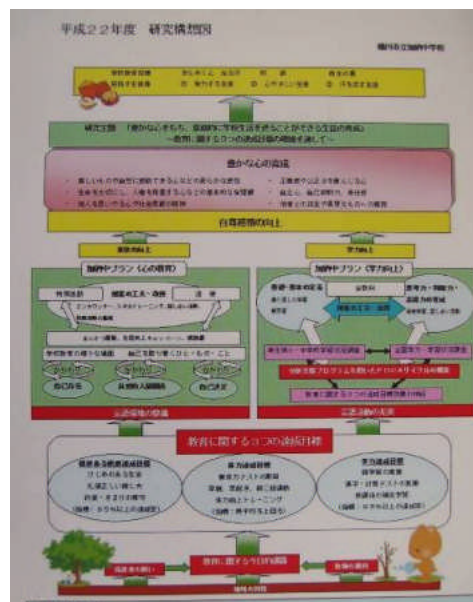
- ・ウォーミングアップの中に取り入れた関節の可動域を広げるためのストレッチ
- ・生徒それぞれの状況に合わせた筋力トレーニングの実施
- ・「変形ダッシュ」や「投動作につながる補助運動」を意図的に取り入れる取り組み

○「早寝、早起き、朝ご飯」運動

- ・養護教諭、学校保健委員会、生徒会保健委員会との連携によるアンケート調査と改善への取り組み

○長期休業における宿題

- ・生徒各自が設定した「体力トレーニング」の実施



(5) 成果と課題（全体会での発表より）

①成果

- ・夢や目標をもてる生徒が増加した。
- ・教師の授業に対する意識が変化した。
- ・保護者の学校に対する関心が高まった。

②課題

- ・自尊心の育成
- ・家庭学習の徹底（家庭や地域を巻き込んだ取り組みが必要）

4 視察を終えての感想

加納中の取り組みは、現在、泉丘中が取り組んでいる課題と通じる点が多く、とても参考になった。特に、学校行事と道徳、学級活動の関連性を一覧として示した「加納中プラン」は、全教師と全生徒が同じ目標を共有して活動に取り組む指針となっており、ぜひ参考にしたいものである。

本校における課題研究を振り返ってみると、生徒同士の「学び合い」をメインとした取り組みとした学力向上に努めてきた年もあったが、生徒同士の人間関係が育っていないためになかなか成果が表われなかったという経緯がある。その反省から、心の教育に力を入れたり、学級や学年を単位として生徒同士、教師と生徒の関係づくりに務めたりすることと、学力向上の取り組みを同時進行で進めるに至った。そして、学校のありとあらゆる教育活動を、3つのプロジェクトに割り振って一人一研究として取り組んでいる。

今回の視察を通して、本校の課題研究の範囲は広いが、学校教育における普遍的なものとして今後も推し進めていくべきものと確信することができた。